

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所　びっころ16			
○保護者評価実施期間	令和8年3月10日		～	令和8年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14家庭	(回答者数)	11家庭
○従業者評価実施期間	令和8年3月10日		～	令和8年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日			

結果

	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの「できる・できない」だけでなく、参加しやすくなる条件を整理して支援へつなげている。	日々の観察やアセスメントから、声掛け・提示方法・課題量など、本人が力を発揮しやすい条件を職員間で共有している。	有効だった支援条件を記録と個別支援計画につなげ、担当者が変わっても支援の意図が共有しやすい形を目指す。
2	小集団の中でも一人ひとりの発達段階や理解の仕方に応じた個別的な配慮を行っている。	集団の流れを保ちながら、必要に応じて説明方法、待つ時間、役割や難易度を調整し、参加しやすさを支えている。	活動の成功・不成功だけでなく、どのような条件で主体的に参加できたかを振り返り、次の活動設定へ反映する。
3	家庭や園等での様子と事業所での様子を照らし合わせ、生活場面へのつながりを意識している。	送迎時や面談等で得た情報を支援の検討材料とし、事業所内だけで完結しない支援を意識している。	保護者へ支援の意図や有効だった関わり方をより具体的に伝え、家庭・関係機関との共通理解につなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援記録の内容に職員ごとの視点の差があり、個別支援計画の目標とのつながりが読み取りにくい場合がある。	子どもの様子は記録されていても、支援者の働き掛けや、その結果どのような変化があったかの記載量に差がある。	記録時に「目標・支援・反応」のつながりを意識し、次の支援方法を検討できる情報を残す。
2	家族支援や安全面の取組について、実施している内容が保護者に十分伝わっていない項目がある。	保護者評価では家族支援、交流、安全に関する項目で「わからない」が出やすく、取組の有無だけでなく説明の分かりやすさにも改善余地がある。	家庭で活用しやすい具体的な関わり方や、安全に関する取組を、必要なタイミングで分かりやすく伝える。
3	活動の定着を大切にする一方、経験の固定化を防ぐ視点を継続して持つ必要がある。	ルールや手順を繰り返すことが有効な子どももいるため、単純に活動を変えるだけでは支援目的と合わない場合がある。	活動のねらいは保ちながら、教材・役割・難易度・選択肢を変え、子どもの主体性や新しい経験につなげる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所びっころ16

公表日 令和8年3月24日

利用児童数 14家庭

回収数 11家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	4	園等との交流について、どのような形で行われているのか分からない。	交流の有無だけでなく、必要に応じた関係機関との連携や移行支援の内容が伝わるよう説明を工夫します。
保護 者へ の説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	2	家庭での関わり方について、具体例をもう少し聞けると助かります。	事業所で有効だった声掛けや環境調整を、家庭でも取り入れやすい形でお伝えできるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	6	保護者同士で交流する機会はほとんどないと思います。	ニーズを確認しながら、家族支援としてどのような情報提供や機会が必要か検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	1		
非常 時等 の対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	5	避難訓練など安全面の取組を詳しく知る機会が少ないです。	安全計画や訓練の内容について、保護者にも伝わりやすい情報提供を意識します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	2		
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	0		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		